

1. 事業の基となる施策

○第六次福井市総合計画

- | | |
|------|-------------------------|
| 基本目標 | みんなが快適に暮らすまち |
| 政策 | 県都としての魅力を高め交流しやすいまちをつくる |
| 施策 | 賑わいのある中心市街地をつくる |

○第2期福井市中心市街地活性化基本計画

第2期計画のテーマ

- 官民協働のまちなかにぎわいステージづくり
～時めきときらめきに満ちた持続性のあるまちをともに作り育てる～

第2期計画の基本的な方針

- 方針①出会う 観光客・来街者の行き交い、おもてなしなどいろどりを整える
方針②暮らす 魅力ある住まい、生活、働く環境を充実する
方針③遊ぶ 歩きたくなる素敵な界限形成と多様な余暇活動の舞台として演出する

将来像

- 出合い・暮らし・遊びに満ちた県都のまちなか

2. 事業の目的

中心市街地活性化基本計画（以下、基本計画）が確実に推進され、さらにその実効性を高めるためには、官民協働の推進体制のもと、基本計画に位置づけた事業の進捗状況の把握をはじめとする適切な進行管理を行うとともに、積極的かつ効果的な市民啓発に努める必要があるため。

3. 市が行う必要性

中心市街地活性化のためには、多様な主体が実施する事業の位置付けや必要性、実施に向けた課題などの情報の共有化を図りつつ、中心市街地の活性化のために効果の高い施策・事業を実施する必要がある。そこで、市が先頭に立って、市のリーダーシップのもと市民ニーズを的確につかんだ効果の高い施策・事業を実施していくことが重要である。

また、内閣総理大臣に基本計画の認定を受けることにより、国の集中的かつ効果的な支援（社会資本整備総合交付金）を受けることができる。

※平成25年3月29日認定、平成26年3月28日第1回変更認定

4. 事業の概要（平成25年度）

官民協働による推進組織である中心市街地活性化マネジメント会議及び市内推進組織である中心市街地活性化推進本部において、基本計画の推進状況を把握しながら改善等に関する検討を行った。また、基本計画の進捗を図るために設定されている目標指標やサブ指標に関する調査を行った。

(1) 事業期間

平成25～29年度（計画期間）

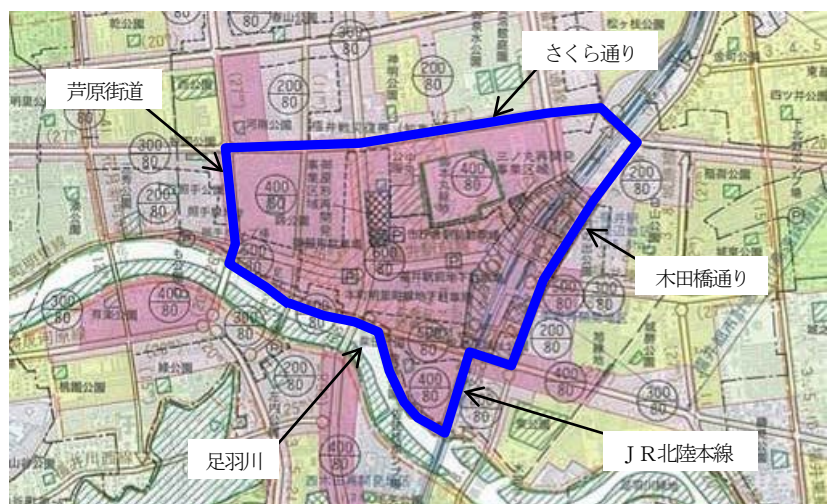
(2) 実施主体

福井市

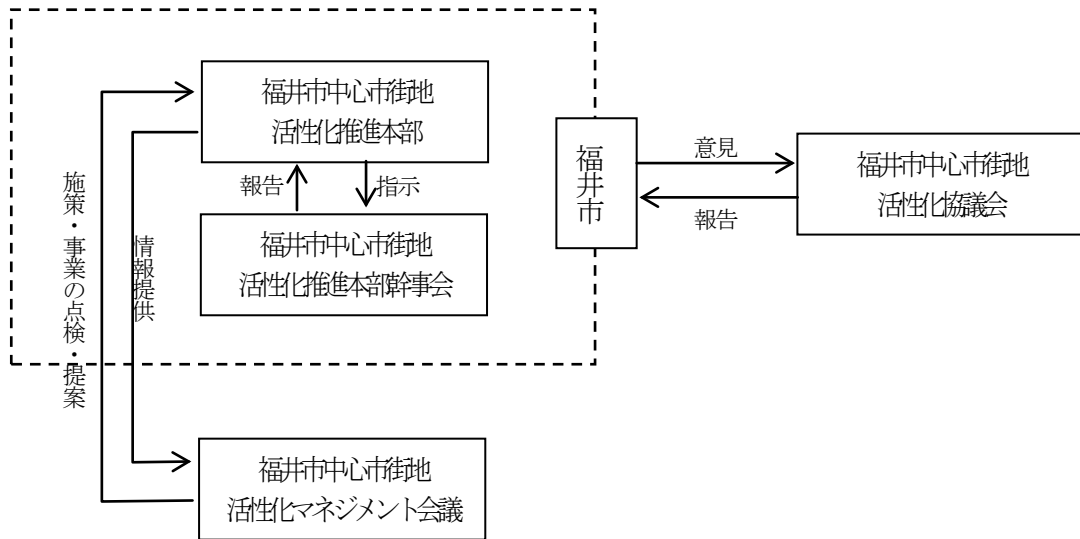
(3) 事業の対象、または事業区域

中心市街地（105.4ha）

※右図参照



(4)事業実施手法



○福井市中心市街地活性化マネジメント会議

役割： ①既存の取組や事業の点検

②活性化にかかる施策・事業の改善・提案

構成： 民間事業者、学識経験者などまちづくりの専門家、市民団体など有識者、市

○福井市中心市街地活性化推進本部（本部会議・幹事会）

役割： ①基本計画の変更に関すること

②基本計画で設定した数値目標の達成状況の把握

③基本計画で位置づけた事業の進捗状況の把握

④目標達成へ必要な措置の検討

構成： （本部会議）関係部局の部長級職員 （幹事会）関係所属の課長級職員

○福井市中心市街地活性化協議会

役割： ①基本計画及びその実施に関して、必要な事項についての意見提出

②民間ベースの事業計画についての協議

③中心市街地活性化に関する委員相互の意見及び情報交換

④中心市街地活性化のための勉強会、研修及び情報交換

⑤その他、中心市街地の活性化に寄与する活動の企画及び実施

構成： 有識者、商業者、自治会、福祉・教育文化、地域経済関係者、交通事業者

事務局：福井商工会議所

(5)担当職員数

<担当職員数> 4名 ※他業務と兼務

<業務内容> ・基本計画掲載事業の進捗状況の調査(4月)

・基本計画の目標指標・サブ指標の実績調査(随時)

・国への実績報告(6月)

・国への基本計画変更申請手続き(随時)

・中心市街地活性化マネジメント会議、推進本部会議等の運営(随時)

・中心市街地活性化協議会へのオブザーバー出席(随時)

(6)実施費用 ※単位：千円、決算額は千円未満切上げ、なお、25年度の決算額については見込額

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
決 算 額					3,345

25 年度決算見込額内訳	決算見込額
報償費	227
旅 費	80
需用費	42
委託料	2,996
合計	3,345

<委託業務内容>① 基本計画の適切な進行管理を図るため、目標指標の1つである「歩行者・自転車通行量」や、中心市街地の現状把握に必要なサブ指標である「空き店舗率」「まちなか好感度・素敵度」の調査を実施する。

- ・歩行者・自転車通行量調査
中心市街地内の10地点を通る中学生以上の歩行者・自転車通行者を方向別に調査した。調査回数は7月および10月の平日・休日1回ずつの計4回。
- ・空き店舗調査
中心市街地を対象に、建物の1階部分が空き店舗となっている物件を調査した。
- ・まちなか好感度・素敵度調査
中心市街地の景観・滞在時間・立ち寄り件数・まちづくり参加度等に関するアンケート調査を行った。

② 中心市街地活性化マネジメント会議における検討課題等の抽出のため、地元関係者によるワークショップを開催し、エリアごとの課題や要望を明確に把握する。

- ・ワークショップの開催
中央1丁目エリア、中央3丁目(浜町周辺)エリアを対象に実施した。

<財 源> ・社会資本整備総合交付金(国) 126千円

(7)事業実績

○福井市中心市街地活性化マネジメント会議の開催

会議名	開催日	検討内容
第1回 ・委嘱式	5月16日	・中心市街地活性化のための事業の進捗状況について ・今後のスケジュールについて
第2回	7月10日	・中心市街地各エリア代表者からのヒアリング(※) ・ヒアリング内容の整理とワーキングについて
第3回(ワ ーキング)	8月29日	・中心市街地活性化に関わる取り組みについて ・今後取り組むべき事業の方向性について
第4回	9月24日	・推進本部会議への提言について
第5回	12月17日	・第2期基本計画の事業進捗状況について ・提言に対する推進本部会議の今後の対応について
第6回	2月19日	・平成26年度の進め方について

※ワークショップによる市民ヒアリングを実施：浜町周辺地域(6月16日)、中央1丁目(7月1日)

○福井市中心市街地活性化推進本部（本部会議、幹事会）の開催

開催日	検討内容
6月24日 (本部会議)	・第1期基本計画の最終フォローアップについて ・中心市街地活性化マネジメント会議の設置・開催について
10月16日 (幹事会)	・中心市街地活性化マネジメント会議からの提言への対応について ・第2期基本計画の既存事業の進捗管理について
11月8日 (本部会議)	・中心市街地活性化マネジメント会議からの提言への対応について

○基本計画の目標指標・サブ指標に関する調査の実施

- ・歩行者・自転車通行量調査（7月、10月）
- ・空き店舗調査（8月）
- ・まちなか好感度・素敵度調査（9月）

(参考)

○福井市中心市街地活性化協議会へのオブザーバー出席

会議名	開催日	検討内容
第18回	6月6日	・第1期基本計画に関するフォローアップ報告について ・中心市街地活性化マネジメント会議について
第19回	10月3日	・中心市街地活性化マネジメント会議の経過報告及び提言内容について
第20回	2月7日	・第2期基本計画の変更について

5. 所属による事業評価

＜事業目標（平成25年度）＞

中心市街地活性化マネジメント会議を立ち上げ、第2期基本計画の効果的な推進を図る。

＜目標達成状況＞

順調又は目標達成

＜評価理由＞

年度早期に中心市街地活性化マネジメント会議を立ち上げ、中心市街地活性化に関する様々な意見聴取を行いながら、基本計画の実施状況について点検および提言を実施していただいた。

6. 平成26年度以降の事業の進め方

(1)平成26年度前半（7月末まで）の事業実績

6月2日に第7回中心市街地活性化マネジメント会議（平成26年度第1回会議）を開催した。

平成25年度に中心市街地活性化マネジメント会議が提言した22項目などを踏まえ、ハード事業を中心に公共事業が急速に進んでいく中で、官民の連携を深めてさらに効果的に取組を推進していくことが次なる課題となっている。

そこで、今年度の中心市街地活性化マネジメント会議においては、民が主体となって構成する中心市街地活性化協議会との連携を深めながら、民間を巻き込んだ事業の掘り起こしや具体化について検討を行っていくこととなった。

また、今年度からの新規事業として、中心市街地に様々な世代から多くの人を呼び込むため、中心市街地の魅力を広く伝えていくプロモーション事業を実施する。現在、プロモーション内容について、市と実施団体とで協議を進めている。

○福井市中心市街地活性化マネジメント会議の開催

会議名	開催日	検討内容
第7回 ・委嘱式	6月2日	・中心市街地活性化にかかるマネジメント状況について ・今後の進め方および検討課題について

○福井市中心市街地活性化推進本部（本部会議、幹事会）の開催

開催日	検討内容
7月11日 (幹事会)	・基本計画にかかる事業の実施状況や各種指標の状況について ・中心市街地活性化に向けた取組について

○基本計画の目標指標・サブ指標に関する調査の実施

- ・歩行者・自転車通行量調査（7月）

(参考)

○福井市中心市街地活性化協議会へのオブザーバー出席

会議名	開催日	検討内容
第21回	6月26日	・事業の進捗状況や指標数値の報告について ・今後の活性化策について

(2)平成26年度後半（8月以降）の事業の進め方

8月7日に開催された第8回中心市街地活性化マネジメント会議において、今年度検討する活性化プロジェクトとして、「食に関する取組の効果的な促進」と「市民活動などのソフト事業の活性化に向けた仕組み・仕掛けづくり」について、ワーキング形式で検討を進めることとなった。

平成28年の西口再開発ビルオープンという契機に向けて、平成27年度は最後の準備期間という位置づけもあり、官民協働による賑わいづくりのため必要な方策を整理し、取りこぼしの無いように各事業の推進を図る。

また、プロモーション事業についても、中心市街地の魅力を十分に伝えていけるよう、企画内容について議論を重ねていく。

(3)平成27年度以降の方向性及び理由

<今後の方向性> 「維持」

<理由>

中心市街地を巡る今後の社会的な動きとして、平成28年西口再開発ビルのオープン、平成30年福井国体開催、平成37年北陸新幹線敦賀開業が計画されており、中心市街地は県都の玄関口としてますます重要な役割を担っていく必要がある。

については、中心市街地活性化マネジメント会議等において、数値指標の状況や事業の実施状況を把握しながら、改善策等を検討していくことにより、基本計画の確実な推進を図っていくことが重要である。

7. 関連事業

(1)市の事業で関連する事業

特になし。

(2) 県や国、民間で関連する事業

【再掲】 福井市中心市街地活性化協議会

- 役割： ①基本計画及びその実施に関して、必要な事項についての意見提出
②民間ベースの事業計画についての協議
③中心市街地活性化に関する委員相互の意見及び情報交換
④中心市街地活性化のための勉強会、研修及び情報交換
⑤その他、中心市街地の活性化に寄与する活動の企画及び実施

構成： 有識者、商業者、自治会、福祉・教育文化、地域経済関係者、交通事業者

事務局：福井商工会議所

8. ホームページの検索

検索キーワード：福井市中心市街地活性化基本計画

URL：<http://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/mati/sigaitikassei/p012088.html>